

2022年8月のアルミニウム圧延品の生産・出荷動向について

2022年9月27日



1. 2022年8月のアルミニウム圧延品の生産・出荷概況

◆ 概況：
 ・板： 生産・出荷ともにマイナス。多くの分野がマイナスだったが、印刷版を含む「その他金属」は広告需要の回復等によりプラスとなった。
 ・押出： 生産・出荷ともにマイナス。主要分野の「建設」「自動車」ともに減少、その他の分野も減少した。
 ・はく： 生産・出荷ともにマイナス。「電気機械」の減少が影響し全体ではマイナスだったが、「食料品」「医薬品」はプラスとなった。

・板類（主な分野のコメント） *数字は出荷量、カッコ内は前年同月比

- (1) 缶材 32,328トン (▲ 7.2%)：前年はビールの新製品が好調だったことや巣ごもり需要があったなどからマイナスとなったが、出荷量としては例年並み。
- (2) 自動車 12,305トン (▲ 13.3%)：国内の四輪車生産台数の減少によりマイナスが継続している。

2022年7月の国内四輪車生産台数：699,708台（前年同月比▲4.2%）

・押出類（主な分野のコメント） *数字は出荷量、カッコ内は前年同月比

- (1) 建設 32,246トン (▲ 0.1%)：住宅着工戸数の減少によりサッシはマイナスだったが、外装材はプラスとなり、建設全体では前年並みとなった。
2022年7月の住宅着工戸数：72,981戸（前年同月比▲5.4%）
- (2) 自動車 8,672トン (▲ 6.9%)：板同様国内の四輪車生産台数の減少によりマイナスが続いているが、二輪車生産が好調なことから、自動車全体では板と比較してマイナス幅は小さくなっている。

・はく（主な分野のコメント） *数字は出荷量、カッコ内は前年同月比

- (1) 電気機械器具 4,967トン (▲ 18.0%)：前年が高水準だったこともありコンデンサ、リチウムイオン電池向けともにマイナスとなったが、出荷は回復傾向にある。
コンデンサ：▲6.9%、リチウムイオン電池：▲18.6%
- (2) 食料品 1,791トン (▲ 5.1%)：8月としては3年ぶりに行動制限がなかったことから、行楽需要が増加した他、乳酸菌飲料用でヒット商品があり、フタ材が需要好調、食料品向け全体では5ヶ月ぶりにプラスとなった。

◎2022年8月実績 生産および出荷（前年同月比、▲はマイナス）

	生産（トン）	前年同月比（%）	コメント		出荷（トン）	前年同月比（%）	コメント
板類	78,544	▲ 4.8	4ヶ月連続でマイナス	板類	86,454	▲ 5.1	5ヶ月連続でマイナス
押出類	50,808	▲ 3.8	8ヶ月連続でマイナス	押出類	51,617	▲ 3.9	6ヶ月連続でマイナス
板押計	129,352	▲ 4.4	5ヶ月連続でマイナス	板押計	138,071	▲ 4.7	6ヶ月連続でマイナス
はく	8,427	▲ 12.3	6ヶ月連続でマイナス	はく	8,956	▲ 9.6	6ヶ月連続でマイナス